

4/2
金

市立細河コミュニティセンターがオープン

細河地域のコミュニティ活動の拠点となるコミュニティセンターが、4月2日(金)にオープンします。ご利用ください。



細河コミュニティセンター

細河コミュニティセンターは、国道423号に面した、東山町617番地の1(阪急バス「東山」下車徒歩約1分)にオープンします。軽量鉄骨プレハブ造りで平屋建て、1718平方mの敷地に延床面積を304平方mとして建築しています。施設内には、多目的ホール(99平方m)をはじめ、料理実習室(32平方m)、講座室(29平方m)、談話室(10畳・12畳)などがあります。

使用した方は、使用希望日の2カ月前から細河農業協同組合へ午前10時から正午まで(土・日曜日、祝休日を除く)に申し込んでください。無料で使用できます。



なお、使用受け付け事務などは、従来通り、細河コミュニティセンター管理運営委員会へ委託しています。また、オープンに伴い、これまでの細河第1会館は「中川原会館」として地元に移管し、第2会館は廃止します。

宇保・八王寺 地車倉庫が完成

このほど、宇保町6番18号の猪名津彦神社の境内に、宇保・八王寺自治会のだんじりを保管する施設として、地車倉庫が完成しました。木造平屋建て、約35平方mの施設です。



宇保・八王寺自治会 地車倉庫

この両施設の問い合わせは、ふれあい課(☎54・6244)

両施設は平成10年度宝くじの助成を受けて整備したものです。

旧市民病院を解体 46年間、ありがとう

老朽化、手狭から、その機能更新を求められていた旧市民病院は平成9年秋、現病院の開院を待つて、その役割を終え、このほど解体されました。跡地の活用は、今後のまちづくりの中での検討事項です。

白亜の殿堂

市立池田病院 名誉院長 中山 賢

旧病院は、昭和26年10月30日に、入院ベッド数81床、1日の外来患者約200人を想定して、鉄筋コンクリート3階建ての病院として開設され、当時としては数少ない白亜の殿堂としてそびえていました。



当時は、81床のうち過半数が個室、残りが給室という構成で、新病院が規制の関係で有料個室が20%しかないことに時代の変遷を感じます。その後は、必要に応じて結核病棟などが増改築され、264床、1日の外来患者約800人を数えるまでになりました。この思い出深い病院が平成9年9月30日、新病院に役目を譲り、平成10年12月21日、取り壊し作業(写真)が始まりました。昭和28年の勤務以来、医師としてはぐんぐんできた建物です。

開院当時、診断の困難な病気といわれた「脾臓病」にあかるい病院といわれ、まさしく北摂の基幹病院でした。

これは当時、日本でもわずかに2、3の大学の先生方しか研究に取り組まれていなかったほど難しいこの病気を、大学時代から研究されていた築山義雄先生(故人)が、初代院長として赴任されたためです。院長は、その後も研究され、昭和34年秋の日本消化器学会で特別講演されました。

当時の若い医師にも研究のお手伝いの機会が与えられ、私は、この研究の集大成ともいえる学会へのお供をさせていただきました。

さまざまなが去来する40年の歲月。患者さんには、喜んでいただいた方も、また、悲しみを共にした方もたくさんおられます。

市民病院は年々、その機能を充実させ、姿を変えても、市民の皆さんの健康に対する付託にこたえていくでしょう。

藤井さんが 厚生大臣表彰



藤井義則（ふじい・よしのり）さん
（神田一丁目、68歳、無職）

藤井義則さんが、このほど、厚生援護功労者として厚生大臣表彰を受賞されました。

昭和43年に、池田市身体障害者福祉会に入会されて以来、役員として長年、会運営に尽力。現在も会長として、自ら2級第1種の体幹機能障害のハンディを克服し、福祉会活動をはじめ、地域社会の福祉向上に努力されています。



今年もホームページで公開 あなたも新世界にチャレンジ

大阪大学のオンライン語学講座

市では今まで、インターネット上で文字や音声、動画などによるさまざまな地域・行政情報を発信してきましたが、今年度も大阪大学言語文化部の協力による「オンライン語学講座」を開くことになりました。

これは、大阪大学が「地域に開かれた大学」の実現を目指した新しい試みとして開発したもので、インターネットを利用して、いつでも、どこでも、だれでも気軽に参加できる、オンライン語学教育システムです。

昨年6月の開設以来、多くの皆さんが参加してきましたが、今年も引き続き英語・ドイツ語講座を開設するとともに、ヨーロッパの言語文化的な話題を随時紹介するページも追加される予定です。

オンライン語学講座

開設講座：英語、ドイツ語
開設予定：6月1日（火）開設ホームページ：<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>
この講座は、自習室としていつでも、だれでもアクセスして、利用することができます。

オンライン語学教室

また、インターネット上の「電子掲示板」による質疑応答やディスカッション、レポートの添削指導を受けられることなどができる「オンライン語学教室」も引き続き設置し、次の要領で受講者を募集します。

開設：6月1日（火）対象：池田マルチメディア（株）のインターネットブログに加入している方 定員：英語・ドイツ語とも各30人 費用：無料 申し込み受付期間：4月15日（木）～30日（金）にウオンパットおよび本市のホームページ上でメールによる受け付け
● <http://www.wombat.or.jp/>
● <http://www.city.ikeda.osaka.jp/>



英語・ドイツ語が学べます

その他の注意事項

- ① 申し込み人数が定員を超えたときは、抽選やメールの交換などでの選考により決定し、ご本人に直接結果をお知らせします。
- ② 同教室に参加される方には、ウオンパットが、それぞれID番号を割り付けて、学習や教室からの連絡などのお手伝いをします。
- ③ 本講座では、ネットスケープ3.0またはインターネットエクスプローラー3.0以上のブラウザのご利用をお勧めします。
- ④ 本講座は、リアルプレイヤー機能が使用されています。

問い合わせは行政情報課（☎54・6215）

5月から本誌「今月の表紙」の制作者が変わります
10年度市美術展入賞者が担当

「今月の表紙」は、「ふるさと池田」を再発見してもらえればと、1年ごとにテーマを変え、これまで画家の先生方に制作していただけてきました。

5月1日号からは、10年度市美術展入賞者の12人に、「池田の交差点」をテーマにまち角を紹介していただきます。

同号から順に、竹中豊秋さん（箕面市）、清水信子さん（川西市）、上村淳子さん（五月丘2丁目）、木村雅年さん（室町）、徳永久子さん（豊中市）、筒井健三さん（伏見町）、三瀬真作さん（西宮市）、岩淵佳代子さん（五月丘1丁目）、吉久真知子さん（井口堂2丁目）、下川由紀さん（大阪市平野区）、八ツ本賀津子さん（宝塚市）、鎌谷泰司さん（豊能町）が描きます。ご期待ください。

